

平成29年火薬類事故(速報)

〔 I 〕 総括表(取扱・種類別一覧表)

平成29年12月31日 現在

項 目		事故件数		死亡者数		負傷者数	
取 扱	種類別	件数	計	人数	計	人数(重-軽)	計
製造中	産業火薬	1	} 1	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
消費中	産業火薬	6	} 53	1	} 1	2 - 0	} 2 - 20
	煙 火	30		0		0 - 14	
	がん具煙火	17		0		0 - 6	
運搬中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
貯蔵中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
がんろう中	産業火薬	0	} 0	0	} 0	0 - 0	} 0 - 0
	煙 火	0		0		0 - 0	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
その他事故	産業火薬	2	} 4	0	} 0	0 - 1	} 1 - 3
	煙 火	2		0		1 - 2	
	がん具煙火	0		0		0 - 0	
合 計	産業火薬	9	} 58	1	} 1	2 - 1	} 3 - 23
	煙 火	32		0		1 - 16	
	がん具煙火	17		0		0 - 6	

〔Ⅱ〕 事故一覧

(産業火薬)

製造中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	4月5日 15:20頃	群馬県 高崎市	0	0 - 0	C1	誘導弾の機能試験中に、ロケットモータが発火し、試験装置等が破損したものの。
合計		1件	0	0 - 0		

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	2月27日 8:50頃	宮城県 石巻市	0	1 - 0	C1	用材採取用の粘板岩(幅11m、奥行1.9m、高さ0.8m)を上下に割るため、ドリルで水平に穿孔(直径2.6cm、深さ67cm)し、その孔内にビニール袋に入れた黒色火薬及び導火線を入れ、砂利(3mm～5mm)による詰め物を行い、真鍮製の詰め棒で突き固めをしていたところ爆発し、負傷したものの。(重傷1名:左手指第4,5指欠損)
2	4月18日 22:37頃	神奈川県 横浜市	0	0 - 0	C1	首都高速道路(株)から委託された事業者が、高速道路入口の消火栓箱の点検において、車線規制のために道路作業用信号焰管を使用。その際、点火された信号焰管が道路上のラバーボールに接触したため、時間の経過とともに着火したものの。当該入口を車で通過した者が火災を発見し、ペットボトルの水で消火した後で料金所の職員に知らせた。職員から連絡を受けた管制室が消防へ通報。(消防による消火活動はないものの、火災認定はあり。)
3	5月19日 10:00頃	鹿児島県 肝付町	0	0 - 0	C1	採石場において火薬類消費中に飛石(20cm大)が発生し、約400m離れた民家の軒1箇所を貫通し、窓ガラス等を破損したものの。
4	5月29日 15:41頃	福島県 いわき市	1	0 - 0	B1	採石場にて発破作業をしていたところ、発破で飛散した岩石が、砕石作業用のショベルカーの窓を破り、乗車していた男性作業員の腹部に直撃したものの。事故発生時、当該ショベルカーは発破場所から50m離れて待機していたものの、岩石が想定を超えて飛散したものと考えられる。負傷者は現場に到着のドクターヘリによる応急処置の後、同様に現場へ到着した救急車にて病院へ搬送し、集中治療室で処置を行ったものの、同日21時頃に死亡。事故原因や法令違反の有無等の詳細については調査中。
5	9月25日 10:00頃	兵庫県 赤穂市	0	1 - 0	C1	火薬を使用した押し出し装置の試験作業において、作業者が試験装置に点火用火工品を取り付けた際に当該火工品が発火し、同作業者が左手親指指先を裂傷する重傷を負った。発火の原因は、無線を使用した点火装置が、誤動作したものの。
6	10月17日 11:30頃	千葉県 鋸南町	0	0 - 0	C1	採石場において、硬岩掘削の発破作業の振動により、県道鴨川保田線に長さ20mにわたり土砂が流出。落石防止フェンスの一部が損壊した。また、それに伴いNTT及びKDDIの光ケーブルが土石の重みによりたわんだ。(機能的には問題なし)。発破作業1分前から、上下線とも通行止にしていたため通行車両等に被害はなし。流出した土砂撤去及び崩落の危険性がある岩石の撤去を行い、安全性が確認されるまで全面通行止めの規制を行った。
合計		6件	1	2 - 0		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月14日 15:20頃	大阪府 大阪市	0	0-1	C1	倉庫内において、訓練用発煙用品と誤認して、火工品(火薬量2g)をスチール缶に入れて着火したところ、スチール缶が破裂し、負傷(右手第3、4指の打撲)したものの。
2	12月26日 12:00頃	東京都 あきる野市	0	0-0	C2	信号焰管発火薬の残薬を廃薬処理中、塊を砕こうと新聞紙で包み、ビニール袋に入れ、皮手袋を付けた右手で近くにあった石を持って叩いたときに発火。その際、持っていた石が跳ね飛ばされ、1名の右手がやや腫れた(治療は不要)
合計		2件	0	0-1		

(煙火)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月1日 20:01頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C1	19時45分頃から、アドベンチャーワールド内において、煙火の打揚が行われていたところ、20時01分頃に同施設内の雑木林から炎が上がっていることを従業員が発見し、白浜町消防本部に通報があった。その後、自衛消防隊及び白浜町消防本部による消火活動が開始され鎮火した。
2	5月27日 20:45頃	山口県 山口市	0	0-0	C2	花火大会終了後、警戒にあたっていた消防隊が煙火消費場所に隣接する松林(安全な距離)内から煙が上がっているのを確認したため、松林内を検索したところ雑木及び下草(約6㎡)が燃えているのを発見、消火したものの。
3	7月16日 20:52頃	大分県 津久見市	0	0-0	C1	花火大会において打ち上げを開始し、「尺玉60段打」を台船上で実施中に「過早発」が発生。台船のキャビンの窓ガラス3枚が破損。
4	7月22日 20:15頃	三重県 紀北町	0	0-0	C2	花火大会で煙火消費中に煙火(7号玉1個)が上空で開発せず、黒玉となって海中(堤防の外側)に落下した。当日及び翌日に黒玉を捜索したが、発見できていない。
5	7月22日 20:20頃	岐阜県 各務原市	0	0-0	C2	花火大会の煙火消費中に黒玉(2.5号玉1個)が発生。花火鑑賞者が発見し、消防団員に知らせた。消防団員は、ジェットシューター(背負い式消火水のう)で黒玉に水を大量にかた後、花火大会終了後に煙火業者へ引き渡した。
6	7月22日 20:41頃	愛知県 名古屋市	0	0-0	C2	花火大会で煙火を消費中に、小型煙火1台が発射による反動で傾き、危険区域外へ3発が飛翔した。
7	7月27日 20:35頃	和歌山県 白浜町	0	0-0	C2	花火大会にて黒玉が発生。割物(4号玉)33発のうち、1発が開発をせず海に落下したものの。大会翌日から1週間、周辺の海岸を捜索したものの黒玉は発見されず、継続して捜索中。
8	7月29日 20:00頃	岐阜県 大垣市	0	0-0	C1	花火大会にて煙火(20号玉1個)が、打上直後に開発し、花火大会関係者の車両2台が一部破損、及び枯草が1㎡焼失した。

9	7月29日 20:10頃	広島県 廿日市市	0	0-0	C2	花火大会にて、煙火4号玉20発を打ち上げる途中、7発目が地上10mで開発、その後2本が筒ばねを起し、さらに1本の筒が倒れ地上で開発した。
10	7月30日 19:50頃	山形県 新庄市	0	0-2	B1	花火大会プログラムの約3分の2程度打揚げした頃、小スターメイン(1セット22発構成:2.5号11発 3号10発 4号1発、1筒に2発ずつ充てんされ、計11筒)の打揚げ最中に事故が発生した。1筒目は通常どおり打ち揚がったが、2筒目から10筒目が異常爆発(筒ばね)した。残りの1筒は、4号玉と2.5号玉であったが、筒の位置が離れていたため影響はなかった。(リモコンで発射させる電気点火予定のため) 打揚げ方法については、点火係が導火線に火をつけ、時間差で打上げをする方法(手動)。今回、点火係の58歳男性と筒整理係の61歳男性に、暴発した打揚げ筒の破片がぶつかり負傷した。
11	8月3日 20:45頃	島根県 邑南町	0	0-0	C2	夏まつりにて黒玉が発生。2.5号玉を単発で打揚中に、開発せず地上に落下した。消費場所直近の水田(水が張っている)に落下し、3日間捜索したが発見されていない。水田管理者に状況を説明するとともに、地域住民にも注意喚起を実施。
12	8月5日 20:00頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	七夕花火祭りの煙火消費終了後に確認を行っていたところ、煙火筒1本が破損していることがわかった
13	8月5日 20:15頃	千葉県 千葉市	0	0-0	C1	花火大会にて、4号玉が筒ばねを起こした。
14	8月5日 20:02頃	埼玉県 三郷市	0	0-2	C1	花火大会にて、安全距離の外にいた観客2名が火傷を負った。その日のうちに市内の病院に搬送され、2名とも軽傷であった(1名は右手甲、1名は右足首に熱傷)。
15	8月10日 19:45頃	栃木県 那須町	0	0-1	C1	花火大会にて、小型煙火を消費中に、星の一部と推定される火の粉が観客席に飛び込み、観覧者の内2名が軽度の火傷を負った。スタッフによりアイシングが行われるとともに、救急車の手配と消防等への通報が行われたが、軽傷のため、救急搬送はされず。(なお、負傷者1名は自力で病院に行き治療を受け、もう1名は病院に行かず。)
16	8月13日 20:15頃	京都府 京丹波町	0	0-0	C2	花火大会にて煙火消費中、2.5号玉の打揚時に打揚筒から星が吹き上がるかたちで開発(筒ばね)した。
17	8月14日 14:00頃	愛知県 東海市	0	0-0	C2	公園を管理する施設管理者が、2日前に開催された花火大会の打ち揚げ場所周辺の掃除を行っていたところ、黒玉(3号玉)を1個発見した。
18	8月14日 20:30頃	島根県 安来市	0	0-2	C1	花火大会にて、打揚筒から打ち込んだ水中煙火が安全距離外で開発。火の粉が対岸岸壁のイベント会場付近で見物していた客に当たり、2名が軽傷(火傷)を負った。
19	8月15日 20:15頃	京都府 京丹後市	0	0-0	C2	花火大会において、開始15分後に打ち揚げた5号玉煙火が開発せず、近くの茂みで落下音がしたため、黒玉発生と判断し捜索を実施。現在に至るまで発見されていない。

20	8月15日 20:30頃	富山県 富山市	0	0-1	C1	花火大会で煙火を消費中、観賞している女性1名の額に何かあたり出血、救急搬送された(病院到着時には出血は止まっていた)。翌朝の現地確認にて、女性が観賞していた場所付近で小型煙火の部品(石膏製の筒のふた)が発見されたことから、この部品が立入禁止区域外(打揚位置から55m)まで飛散し、女性の額にあたったものと推定されている。
21	8月16日 21:00頃	兵庫県 朝来市	0	0-0	C1	花火大会において、煙火玉3号(5連射×10回)のうちいくつかで筒ばねが発生した。人的被害・火災はなし。田んぼの小屋・稲、碎石工場の看板パネル、動物よけの柵、市下水施設の窓ガラスの一部を損傷。
22	8月20日 21:15頃	長崎県 雲仙市	0	0-1	C1	花火大会において、安全距離外(グラウンド脇の歩道)にて花火を見物していた女児(小3)が、飛散した花火により火傷を負った(左足の膝、股の内側、右足のスネに3ヶ所の軽度の火傷)
23	8月26日 19:48頃	宮城県 仙台市	0	0-0	C2	花火大会にて煙火を消費中、打揚筒に打揚火薬を装填し忘れたため、筒ばね(グラスファイバー製:3本)が発生した。
24	9月2日 21:00頃	宮城県 都城市	0	0-0	C2	火大会において、打揚煙火の火の粉が消費位置から東側約61m地点(安全距離100m)の竹藪に自生する下草及び落葉に落下し、約0.4㎡(0.5m×0.8m)を焼失した。
25	9月18日 21:07頃	愛知県 田原市	0	0-0	C2	花火大会の開催中、花火の火の粉が飛散し枯草に燃え移り、約42㎡を損傷した。
26	9月19日 14:45頃	宮城県 小林市	0	0-1	C1	運動会終了の合図のために、教諭1名が音花火に着火したところ、打ち上がらなかったため、再度着火しようと発射筒に近づいた。その際、約5m程度の高さまで花火が打ち上がり、筒から約4.7m離れた箇所に落下し開発した。当該1名が両足に軽傷の火傷を負った。
27	10月7日 16:42頃	愛知県 豊橋市	0	0-0	C2	「大のし(台付きの大筒噴出煙火)」に、点火用の振込棒(1m程度の長さの吹出煙火)で着火しようとしたところ、予備を含め、振込棒2本が異常燃焼した。そのため、落とし火で「大のし」への着火を行った。
28	10月7日 20:25頃	宮城県 都城市	0	0-2	C1	煙火消費中に3号玉1発が筒内で破裂(筒ばね)し、煙火消費従事者71歳男性が右腹部及び左下腿にⅡ度の熱傷並びに顔面打撲を負った。また、打揚場所から約60m離れた遊具で遊んでいた7歳女児1名に破片の一部あたり左大腿部及び左手首に切創を負った。
29	10月20日 15:40頃	神奈川県 伊勢原市	0	0-0	C2	ツキノワグマを追い払うため、動物駆逐用煙火を使用したところ、3連発のうち1発目が煙火の筒の出口付近で暴発、煙火の先端10cm程が吹き飛んだ。使用者及び同行者にけがはなかった。また、煙火はホルダー(長さ約1mの竹筒)に設置して使用したがホルダーには破損はなかった。
30	11月26日 9:30頃	千葉県 四街道市	0	0-2	C1	サバイバルゲーム場において、サバイバルゲームの開始合図として動物駆逐用煙火を使用したところ、途中で導火線の火が消えてしまった。再度、導火線に点火し、投てきしようとしたところで爆発。使用者は右手親指の付け根に裂創を負った。また、爆発の際、使用者の周囲に3名がいたが、うち1名が腹部に火傷を負った。
合計		30件	0	0-14		

その他事故

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	5月25日 13:50頃	長野県 上田市	0	0 - 1	C1	89歳女性がドラム缶の中で廃棄物を焼却処理中に、廃棄物が破損し顔に熱傷を負った。消防本部によると、付近の住民がパーンという音を1回聞いたことと、ドラム缶中に不発の”らっきょう型の煙火と思われる物体(サイズ:全長約6cm、球状部直径約3cm)”が残っていたことから、この物体が破裂したものと思われる。 なお、らっきょう型の煙火らしき物は、昭和29年の日付の新聞紙に包まれていたような形跡があることから、入手経路の調査は困難であることに加え、認知症が進行している女性から事故当時の状況が明確に聴取できず、破裂の原因は特定されていない。
2	7月26日 13:50頃	香川県 坂出市	0	1 - 1	B1	花火工場で爆発が発生し、2名が負傷、工場内の建物5棟が損傷した。2名の負傷者の内、代表者1名が重傷(気道熱傷、Ⅲ度の火傷)で入院。従業員1名は軽傷(左足等の火傷)。消防車9台が出動し、火災は約2時間後に鎮火した。
合計			2件	0	1 - 2	

(がん具煙火)

消費中

番号	発生日時	発生場所	死	傷	級	事故概要
1	3月20日 14:26頃	山形県 東根市	0	0 - 0	C2	4時26分、山形空港管制塔より滑走路東側草地から煙が上がっている旨の連絡があり、確認したところ出火していたため、山形空港消防警備隊が出動し消火活動を行い14時40分に鎮火した。草地8,750㎡が焼失。定期便2236便(定刻14:55発大阪便)に47分の遅れが発生。 バードスイープ(鳥追い)のために使用したロケット花火の残り火が枯れ草に引火したと推測。(消防聞き取り) なお、3月20日4:55から3月21日10:25にかけて火災気象通報が発表されており、火災が発生しやすい状態であった。
2	3月30日 11:00頃	富山県 射水市	0	0 - 0	C1	ゴルフ場のコース内のモグラ駆除のため、従業員が着火した緊急保安炎筒を巣穴に入れたところ、火が周辺に燃え広がったもの。付近に水を入れたバケツを準備していたが消火しきれず、当該コースを一時閉鎖し、ゴルフ場の散水車による作業員が消火し、11時25分頃に鎮火した。当日は比較的乾燥していたため風にあおられ燃え広がったと考えられる。(火災認定あり、) なお、当該作業は、今回初めて試験的に実施した。
3	5月25日 5:40頃	宮城県 気仙沼市	0	0 - 1	C1	居住者によると、5時30分頃、カラスの鳴き声がうるさかったため、2階の窓からロケット花火3本に火をつけて屋外に向け打ち上げ、部屋を離れた後、同室のカーテン等から炎が上がったもの。消防車両6台が出動し、消火活動を行い、7時21分に鎮火。初期消火を行った居住者が軽傷(気道熱傷)。
4	5月25日 21:00頃	北海道 札幌市	0	0 - 0	C1	一般住宅屋外のウッドデッキ上でがん具煙火(手持ち花火)を消費したところ、ウッドデッキが焼損したものの。
5	6月4日 15:50頃	香川県 高松市	0	0 - 0	C1	中学生が煙玉で遊んでいたところ、煙玉が転がって下草に着火し、下草44㎡とともに、電柱2本のカバーが焼損したものの。

6	7月16日 21:38頃	和歌山県 由良町	0	0 - 1	C1	小児数人で花火をして遊んでいたところ、他人の手持ち花火の火花が幼児(5歳)の顔にあたり、左眼周辺の皮膚にI度の熱傷を負った。眼球等に異常なし。(当時大人は不在)
7	7月17日 16:04頃	大阪府 大阪市	0	0 - 0	C2	河川敷で高校生5人が、羽根つき筒状のがん具煙火(地上に設置して使用するもの)を投げて遊んでいたところ、枯草に着火し、雑草等約470平方メートルが焼失したものの。
8	7月18日 20:00頃	長野県 長野市	0	0 - 0	C2	家族で花火をしていたところ、当事者である小学1年生が手持ち花火を立ち木に向けて1本を消費したところ、立ち木に燃え移ったもの。
9	7月26日 19:41頃	北海道 札幌市	0	0 - 0	C1	屋外でがん具煙火(手持ち花火)を消費したところ、付近にあった物品が焼損したものの。
10	8月4日 20:41頃	北海道 札幌市	0	0 - 2	C1	花火大会において、親子(2名)でがん具煙火(市販されている打揚花火)を觀賞していたところ、がん具煙火の火の粉が着衣に着火し親子が負傷したものの。
11	8月13日 22:29頃	愛知県 名古屋市	0	0 - 0	C1	火災通報を受けて消防車両11台が出動し、消火活動を実施。木造平屋建て倉庫の壁(約1㎡)が焼損した。数時間前に近くでがん具煙火で遊んでいた人がいたとの情報があり、周辺にも花火の残骸が捨てられていたことから、がん具煙火の火種が原因で着火したものと推定される。(火災発生時、すでにがん具煙火の消費者は現場を立ち去っていた)
12	8月16日 20:00頃	静岡県 富士市	0	0 - 1	C1	手筒花火演舞中、演舞者の腹掛けから取り出し忘れていた玩具煙火(直前のイベントで使用)が、手筒花火の火の粉により着火、演舞者が胸腹部及び左手指に火傷(中等症)を負った。
13	8月21日 00:56頃	千葉県 千葉市	0	0 - 0	C2	がん具煙火を消費中、下草に着火し、約10㎡焼失した。(なお、がん具煙火の消費者は、消防隊到着時には立ち去ってしまっており、当事者不明)
14	8月23日 20:30頃	大阪府 阪南市	0	0 - 1	C1	大学生数人でがん具煙火(打上花火)を消費中、誤って筒を覗き込んだところ、飛翔した火花により1名が顔面を負傷し、眼鏡が壊れたもの。左眼球及び左まぶた熱傷(軽傷)
15	8月28日 20:25頃	和歌山県 田辺市	0	0 - 0	C2	和歌山県が所有する荷さばき場で、少年2人が吹出花火を行っていたところ、花火の火が下草に着火し燃え広がり、下草17㎡が焼損したものの。現場にいた者がペットボトルの水で消火したものの、煙がでていたため消防に通報。(消防隊による消火活動は無かったが、火災と認定された)
16	9月1日 時間確認中	愛知県 田原市	0	0 - 0	C2	がん具煙火(手持ち乱玉)に4本同時に着火したところ、がん具煙火の火花がヤシの木の上部に当たり出火。また、芝生の一部が焼損し、消防隊による消火活動が行われた。
17	9月5日 16:39頃	愛知県 岡崎市	0	0 - 0	C1	果樹園に現れた猿を威嚇するために、がん具煙火(ロケット花火)を4本飛ばしたところ、1本が物置内に飛び、物置内の梨袋に着火し、物置及び周囲の枯れ草に燃え広がったもの。
合計		17件	0	0 - 6		